

# 紫雲寺地区 公民館 ニュース

発行日

平成23年12月15日

紫雲寺地区公民館

電話 41-2291

FAX 41-4777



## ♡学んだよ！支えあうことの大切さ♡ 「赤い羽根共同募金ボランティア体験」

10月1日（土）、全国一斉にスタートした赤い羽根共同募金運動。風の子クラブの子どもたち10人が、市内のスーパーマーケット入口で街頭募金活動のボランティアを体験しました。この体験活動は、風の子クラブが県共同募金会新発田市支会と連携し、毎年実施しているものです。

買い物客が多く出入りする中、最初は恥ずかしくて声を出せずにいた子どもたちでしたが、募金された方から「みんな、がんばってね！」と励ましの言葉をかけられて、思わず照れ笑い。その後、全員が自信をもって大きな声を出せるようになり、小さな子にはしゃがんで赤い羽根を胸に付けてあげるなどの優しさも見られました。

お寄せいただいたあたたかい善意は、市内のさまざまな社会福祉の充実のために役立てられます。



### 東豊小学校4年生95名が

### 「紫雲寺潟干拓」

### について学びました

10月13日（木）

小学校の社会科の授業では「紫雲寺潟の干拓について」学びますが、去る10月13日（木）に東豊小学校4年生95名が来館し、紫雲寺潟干拓について校外学習を行いました。

東豊小学校は市内で2番目に児童数が多い小学校です。子どもたちは大ホールで公民館職員から紫雲寺潟の歴史を学んだあと、公民館の屋上へ移動し、「ここから見渡せるほとんどが、むかし紫雲寺潟でしたよ」と説明を受けると、今ではきれいな田に生まれ変わった紫雲寺潟干拓の跡を眺め「うわぁ、紫雲寺潟ってでっかかったんだなあ」と、目を輝かせて眺めていました。後日、子どもたちからたくさんの手紙が届きましたので、その一部を紹介します。

【紫雲寺潟はとても広いことがわかりました。それを干拓するのはむずかしいと思いました。竹前兄弟はそれを可能にしたのがすごいと思いました。干拓してお米や野菜が増え、人々も喜んでくれます。干拓を手伝った人も「干拓してよかったなあ」と思ったと思いました。】

このように紫雲寺潟干拓について、紫雲寺地区以外の子どもたちも積極的に学習されています。先代の偉業をきちんと学び、故郷の大切さをしっかりと受け継いで行くことでしょう。



# 平成23年度紫雲寺地区文化祭

10月29日・30日に開催

今年の作品も”力作“がそろそろ

平成23年度紫雲寺地区文化祭は、市民と共に芸術文化の振興を図ることを目的に、紫雲寺地区公民館で開催されました。今回は例年より出展数も増え、多くの方々に来場いただき、大盛況に終わることができました。

今年には招待作品として、キルト作家として活躍されている石井久美子さん（新発田市在住）の作品をはじめ、新発田市内の高校書道部の皆さんや紫雲寺保育園園児の作品など、今までにない工夫で作品を展示することができました。

訪れた皆さんからは「今年の文化祭はさまざまな分野の作品が展示されていて、見事だね。」と足を止めて鑑賞していました。



▲アルビレックス新潟J1優勝を応援するビクトリーキルト（石井久美子さんの作品）



▲熱心に鑑賞される来館者

しゅんじの秋は  
“元気”と“感動”で彩られた



## すばらしい演技に元気をもらった!! 来場者600人が感動!!

### 第4回 紫雲寺地区芸能音楽発表祭

この芸能音楽発表祭は、日ごろ紫雲寺地区公民館で自主的に活動している団体の希望者が、一堂に会して発表する場として今回で4回目となりました。回を追うごとに大勢の皆さんが訪れ、今回は雨天にもかかわらず約250名の皆さんから鑑賞いただきました。

また、鑑賞した皆さんからは「とっても大きな感動と力強さを感じました」「本当に楽しくて元気をもらいました。来年も楽しみにしています」などといった嬉しい感想をいただきました。

日時 11月19日(土)  
会場 紫雲寺地区公民館大ホール

### 第24回 紫雲寺地区子ども芸能音楽祭

紫雲寺地区の子どもたちに学校や地域から教わっている芸能音楽を発表してもらうため、毎年開催している紫雲寺地区子ども芸能音楽祭も、今年で24回目を迎えました。会場には約350名の多くのかたが来場され、この日に向けて練習を重ねてきた子どもたちの演奏や踊りに大きな拍手を送ってくれました。今回の子ども芸能音楽祭最後の締めくくりは、講師から指導を受けた米子小学校5・6年生のブラスバンドが出演し、今年ヒットした曲「マル・マル・モリ・モリ！」を見事に演奏。楽しく♪にぎやかに♪子ども芸能音楽祭を終了しました。出演した子どもたち、指導されたみなさん、大きな感動をありがとうございました。



【今回の出演団体】

琴紫会&あやめ会大正琴、紫雲寺合唱団、若泉会、紫雲寺民謡研究会、紫雲寺民謡愛好会、ダンスサークル ヘル、彩～sai～、SOLEIL～太陽～、アロハブアナニ、紫雲



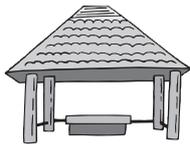
今年の“大トリ”を演じた米子小5・6年生

# 好評開催中!! 今からでも間に合う

## 「ふるさと講座」(後期)

平成23年度

### 古文書から紫雲寺の歴史を訪ねる



6月・7月に行なわれました前期に引き続き、「ふるさと講座」(後期)が開講しました。後期も前期同様に大勢の方に申し込みをいただきました。講座の内容は右記のとおりです。

なお、途中からの受講も可能ですので、紫雲寺地区公民館窓口または電話で申し込みください。TEL:41-2291

- 【時間】 午後1時30分～午後3時30分
- 【場所】 紫雲寺地区公民館 2階 視聴覚室
- 【講師】 新発田市 椎谷良平 様
- 【資料代】 300円【全6回分】  
(当日ご持参ください)

	と き	内 容
第1回	11月26日(土)	紫雲寺潟開発はどのようにすすめられたか その一 竹前の計画
第2回	12月17日(土)	紫雲寺潟開発はどのようにすすめられたか その二 宮川の参加と開発作業
第3回	12月24日(土)	開発した新田の所有人・耕作人はどんな人たちだったか
第4回	1月7日(土)	江戸中後期、幕領紫雲寺郷の人々はどんな暮らしをしていたのか
第5回	1月21日(土)	新発田藩領真野原郷はいつ、どのように開発され、人々はどんな暮らしをしていたのか
第6回	1月28日(土)	新発田藩領藤塚浜の人々の暮らしはどのようであったか



## 耳より情報



### 「れんぎょう」も「さくら」も満開!?

五葉大学開講40周年を記念して、五葉大学生が共同制作したちぎり絵を公民館2階ロビーに展示しています。

ちぎり絵は、紫雲寺にまつわる「れんぎょう・さくら・花火・メジロ・稲穂・五葉松」の6種類です。機会がありましたら、ぜひご覧ください。



▲ 公民館2階ロビーにて展示中

## 紫雲寺地区公民館「西部分館」の屋根をきれいにリフォームしました



▲ もう雨漏りの心配はなくなりました

西部分館は、昭和43年4月に西部児童館として建設されましたが、その後、児童館が米子保育園に統合されたのち、公民館西部分館としての役目を果たしてきております。しかし近年、経年劣化が進み屋根の雨漏りや天井板の剥離等が起きて、危険になってきていることから、このたび屋根の全面改装や一部天井板の張り替え等、ちよつときれいにリフォームいたしました。工期は平成24年1月4日までとなっており、新年からはちよつときれいになった紫雲寺地区公民館西部分館として、地域の皆様方から有効に活用いただければと願っております。

参加者募集

第10回 紫雲寺・加治川  
オープン卓球大会

10年目を機に名称を変更して、盛大に開催します。奮ってご参加ください。  
○日時 平成24年1月29日(日)  
午前8時30分開会式

○会場 加治川地区体育館  
紫雲寺・加治川地区在住または在勤者及び紫雲寺・加治川地区で卓球をしている人。  
※今回は、豊浦地区・聖籠町からの参加も認めます。

○試合方法

団体戦  
①一般の部 ②中学生の部  
個人戦  
①40歳未満の部 ②40歳以上の部 ③60歳以上の部 ④中学生の部 ⑤小学生の部(紫雲寺・加治川地区の小学生以上)

○参加費  
○申し込み

1人200円(小学生は無料)  
1月11日(水)までに紫雲寺スポーツ振興会窓口(紫雲寺地区公民館)へお申し込みください。

紫雲寺地区  
囲碁・将棋大会

伝統娯楽の囲碁と将棋大会を開催します。子どもたちの参加も待っています。  
○日時 平成24年2月5日(日)  
午前9時～

○会場 紫雲寺地区公民館(紫雲寺児童館和室)  
○部門 (1)囲碁大会  
申込み先着20名  
(2)将棋大会  
申込み先着40名

○参加費 一人1,000円  
○申し込み 1月20日(金)までに紫雲寺地区公民館へお申し込みください。囲碁と将棋大会の重複参加は認めません。

○その他

○その他  
お申し込みください。囲碁と将棋大会の重複参加は認めません。



▲昨年の囲碁・将棋大会の様子

紫雲寺支所からのお知らせ



平成23年度 紫雲寺地区「敬老会」  
～盛大に開催される～

恒例の紫雲寺地区敬老会が、10月1日(土)に藤塚小学校体育館で開催されました。今年の敬老会対象者は紫雲寺地域で1213名(75歳以上)。当日出席いただいたのは、212名でした。

敬老会は、新発田市と市社会福祉協議会、地元紫雲寺地区自治会連合会の主催で開催されています。

アトラクションでは、市長みずから趣味の日本舞踊「ああ、坂本竜馬」を披露され、また、



日本舞踊を披露した三階堂市長

藤小児童による藤塚浜大漁太鼓や、民謡連盟による唄と踊りも披露、会場から盛大な拍手を受けていました。

式典では、今回も88歳を迎えた方と91歳を超えられた方に、市から記念品が贈られました。

さて、参加率が低下傾向にある敬老会ですが、今年の春にアンケート調査した結果、紫雲寺地区では、今までどおり、地区全体で、開催した方が良かったといった意見が多く寄せられました。

来年の敬老会は9月に開催される予定です。



参加者のみなさん